

京都第一赤十字病院で救急診療を受けられた患者様・ご家族の皆様へ

## 偶発性低体温症に関する調査へのご協力をお願い

この度、京都第一赤十字病院では「偶発性低体温症に対する体外式膜型人工肺（ECMO）の有用性についての学会主導多施設共同前向き観察研究」を実施いたします。

### 研究の目的

偶発性低体温症とは意図せず体温が 35℃以下に低下した状態です。偶発性低体温症は重症例では死亡にいたる重篤な疾患ですが、本邦での偶発性低体温症に対する多施設研究は少ないのが現状です。高度偶発性低体温症に対する ECMO とそれ以外の治療についての予後を比較検討し、治療適応や予後因子、ECMO 開始までの時間、合併症について明らかにすることで、救急医療資源の効率的な使用、救急医療の地域格差を解決する研究へとつながることが期待できます。

### 研究の方法

#### ・対象となる患者様について

令和元年 11 月 1 日から令和 4 年 3 月 31 日までの間に、京都第一赤十字病院救急外来で診療を受けられた患者様が対象となります。

#### ・方法について

対象となる期間に偶発性低体温性を罹患した患者様の診療情報を収集し、その診察内容を調査させていただきます。

#### ・資料の管理について

情報はすべて匿名化され、個人が特定されることはありません。また、研究発表が公表される場合でも個人が特定されることはありません。

\*ご自分、あるいはご家族の情報を本研究に登録したくない場合は、令和 4 年 3 月 31 日までに下記連絡先までご連絡ください。なお上記までに申し出がなかった場合には、参加を了承していただいたものとさせていただきます。

本研究は、京都第一赤十字病院倫理審査委員会において、適切な研究であると承認されています。この研究計画についてご質問がある場合は下記までご連絡ください。

### 連絡先

京都第一赤十字病院 第一救急科

藤本善大(主任研究者)・竹上徹郎(部長) 電話:075-561-1121